

### 平成 29 年度 総会および研修会を開催

#### はじめに

道北技術士委員会では、定例の総会および研修会を開催しました。当日は日本技術士会理事(北海道本部副本部長)森 隆広氏をお迎えし、総勢 57 名の参加者となりました。以下にその概要を紹介いたします。

日 時：2017 年(平成 29 年)4 月 22 日(土)

14:00 ~ 19:30

場 所：旭川トーヨーホテル

#### 1. 総 会

高桑代表幹事の挨拶の後、議長の進行により以下の項目についての報告が行われました。

第 1 号報告：平成 28 年度事業報告および決算報告

第 2 号報告：平成 29 年度事業計画案および予算案

平成 29 年度事業計画では、昨年 8 月に発生した台風による災害が北海道に甚大な被害をもたらしたことに触れ、このような災害時には各分野の技術者の総力を上げた早期復旧が求められていることや道北技術士委員会としても技術士同士の連携を進めながら、公共の安全、環境の保全、その他公益の確保を踏まえて活動を推進していくことが確認されました。



写真-1 高桑代表幹事の挨拶

また、幹事の改選では、高桑代表をはじめ 7 名の幹事の再任が承認され、1 名の新幹事が選出されました。

#### 2. 研修会

##### 演題 1：技術士を巡る最近の動向

講師：日本技術士会理事(北海道本部副本部長)

森 隆広 氏

概要：以下の 5 点について解説を頂きました。

- (1)平成 28 年度 技術士一次試験結果
- (2)平成 28 年度 技術士二次試験結果
- (3)日本技術士会北海道本部の会員数
- (4)総括本部(理事会等)からの話題
- (5)日本技術士会北海道本部の主な動向



写真-2 日本技術士会理事 森氏の講演

##### 演題 2：平成 28 年度豪雨災害により被災した高原大橋の仮復旧工事について

講師：荒井建設株式会社 土木技術部長

岡崎 竜志 氏

概要：昨年 8 月下旬の台風豪雨により被災して通行止めとなった国道 273 号の高原大橋災害復旧工事の事例について被災状況や工期短縮を実現した工夫点等の報告を頂きました。現場は大雪ダムの上流部

に位置し、上川から十勝を結ぶ物流や観光にとっての基幹ルートであり、一刻も早い復旧が求められる状況下で施工した貴重な体験談でした。

8月に相次いで発生した台風7号、11号、9号による記録的な大雨により被災した高原大橋は、被災翌日に仮橋による復旧が決定し、被災後4日目から工事が開始されましたが、工事中も台風10号の影響による出水被害を受けるなど、現場条件が変化する中で臨機応変な対応が求められました。

現場の緊迫感と刻一刻と変化する現場条件の臨場感、その中で求められる迅速で的確な判断、官民一体となった連携、資材や人材手配のスピード感、岡崎氏ならび現場に関わられた方々の技術者としての使命感を強く感じました。

また、以下の取組みを実施し、実質1か月の施工に短縮し9月中の交通解放を実現しました。

- ・ 合同会議と対外協議の同時進行による意思決定
- ・ 現場状況に応じた最適な機械の選定
- ・ 調査・設計・施工の段階的な同時進行
- ・ 幅広い人材確保、効率的な機材確保など



写真-3 荒井建設株式会社 岡崎氏の講演

演題 3：田舎から世界への挑戦

—私のビジネス感を変えた技術士資格—

講師：日東建設株式会社 代表取締役社長

久保 元 氏

概要：地方都市の建設会社の社長として、公共工事が縮小する中、社員の雇用を維持するために異業種分野への挑戦を思い立ち「コンクリートテスター」を開発した秘話や現在の海外事業展開状況等について講演を頂きました。コンクリートテスターはハンマー型の機器でコンクリート表面を打撃することに

より圧縮強度が推定でき、ハンマーがコンクリートを押す加速度から圧縮強度を推定し、従来のリバウンドハンマーよりも簡易で強度の推定精度が高い機器です。異業種への参入を思い立った行動力、コンクリートテスターに目を付けた着眼力、開発に関わる苦労話、その結果としてのサクセスストーリーに感銘を受けました。

現在では海外への売込みにも力を入れており、韓国や米国、ナイジェリア等7か国にも販売しています。また、2012年(平成24年)の中央自動車道笹子トンネルの天井版崩落事故を踏まえて「ボルトテスター」を開発し、あと施工アンカーボルトの強度確認が容易にできる後続機の開発等を行っています。



写真-4 日東建設株式会社 久保氏の講演

3. 意見交換会

意見交換会では、研修会講師を含む36名が参加し、活発な情報交換が行われました。

本誌の紙面をお借りし、本総会および研修会にご協力いただいた講師の方々、および参加者の方々へのお礼を申し上げ、ご報告といたします。



写真-5 研修会参加者による記念撮影